令和4年度(2022年）組織部活動推進計画（案）

1 昨年のまとめ

組織部長会識は、これまで8月に開催してきましたが、年度の初め頃に開催した方が活動しやすいということで、昨年度痔は、4月13日（金）に開催致しました。

結果的には、 令和3年度の新会貝獲得数56名ということで、依然として減少傾向に歯止めがかかっていませんが、田川市支部では、現職の校長、教頭に勧誘活動を行った結果、30名の方々が準会員として入会され、また、筑紫南支部では、小・中学校校長会に出席し広報活動を行うとともに、コミュニティセンターや公民館等を訪問して勧誘活動を行った結果、8～10月で7名の館長（教職、市職等）等に入会していただくことができました。どちらも思い切って活動を行った結果です。

全国的に会員の減少傾向が続くという厳しい状況下ではありますが、少しでも流れを変えるべく

取り組んでまいりたいと思っていますので、皆さん宜しくお願い致します。

2 組織の現状（令和3年9月末現在）

(1)全国

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 会員数 | 準会員数 | 賛助会員数 | 計 | 前年対比 |
| 140,699 | 62,966 | 13,024 | 216,689 | -l3,493(5.9%) |

組織部長会において，日公連の小松専務は、この2年間のコロナ禍の中、会員数が大幅に減少するのではないかと心配していたが、最小限に抑えることができた。これはひとえに皆さんの頑張りのおかげですと感謝のことばを述べられました。

(2)福岡県

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 会員数 | 準会員数 | 賛助会員数 | 計 | 前年対比 |
| 2,287 | 395 | 15 | 2,697 | -311(13.6%) |

3基本的活動方針

(1)年度を4期に分けて活動に取り組む

○第1期(l～3月）

新退職者には、この時期の勧誘活動が成果に大きく影響するので、電話、訪間等手を尽くして

勧誘する。

○第2期(4～6月）

新退職者と過年度退職者の勧誘活動に集中的に取り組む。

○第3期(7～9月）

第1期～第2期の勧誘活動を検証しながら、地域、職域、親戚等に体する勧誘活動を推進す

る。職種にこだわらず、自治会活動、公民館活動、趣味のサークル活動、老人会（シルバーク

ラブ）等における声かけを推進する。（含準会員、賛助会貝の確保）

○第4期(10～12月）

年間最後の勧誘活動に取り組むとともに、1年間の活動を振り返り、様々な取り組みや成果を

検証するとともに、次年の勧誘活動の方針を策定する。

また、努力の証である表彰規定該当者の選定にも十分配意し、表彰上申に努める。

(2)年間を通し最低1名の方に勧誘活動を行う。

病気療養中等の方を除き全ての会員が、1年間に最低1名の知人等に勧誘活動を行う。

勧誘活動に感心のない方もおられると思いますが、今後は是非、年間最低1名の方に

勧誘のための声かけをお願いします。

的を絞って声かけをすれば、約2,000人が声かけをしたとして、数十名の方が加入さ

れるのではないかと考えます。家族、親戚、友人、知人、地域活動、サークル活動等

で知り合った方々に、是非積極的に勧誘活動のための声かけをお願いします。